

地下鉄から見る韓国の現状

森田 幸枝

はじめに

私は、今回のスタディーツアーで韓国の地下鉄の現状について調査しました。

韓国の地下鉄

現在ソウル市内を走る地下鉄には1号線から9号線があり、市民の重要な移動手段となっています。特にソウル市内は時間帯によって車の渋滞が多いのですが、その点においても地下鉄は、市内を網目のように走っているため移動手段として大変便利になっています。また、路線ごとに車両が色分けされており、駅にもそれぞれ番号がつけられているので初心者でも利用しやすくなっています。

現在ソウル市内であれば一区間の料金は900ウォン（12キロまでそれ以降は6キロごとに100ウォンずつ加算される）となっており、T-money と呼ばれる交通カードを利用すると更に割引になります。（T-money を利用した場合は100ウォンの割引あり）



T-money とは、ソウルメトロ、ソウル都市鉄道、仁川広域市地下鉄公社、韓国鉄道の広域電鉄やソウル、仁川、京畿道の各路線で使用することができる交通カードの一種で、小銭を持ち歩く必要がなく、運賃が割引になるというメリットがあります。この T-money は、「次世代型新交通カード」とも呼ばれ、交通カードとしての利用以外にも、加盟店でポイントを貯めて各種のサービスを受けることができ、将来的には今よりも幅広い分野での利用が可能になると言われています。駅の窓口やコンビニ、ロッテワールド、教保文庫、T-money 加盟店などで購入することができます。なお T-money はプリペイド式(前払い制)で、一定金額をカードにチャージしながら使用するものです。またカードの残金が残りが少なくなったり、0になったりすると、地下鉄の窓口や T-money の自動チャージ機などで再び一定金額を支払うことにより繰り返し何度でも使用することもできます。地下鉄やバスを多



用する人は T-money を持っているとお大変便利です。

地下鉄の中では、その国の文化を知ることができます。儒教社会の韓国では目上の人を敬う慣わしがあるので、お年寄りが乗車してくると、誰かが席を譲ります。今回調査したなかでは、立っていたお年寄りも居ましたが、席を譲る若者も多くいました。社会の変遷の中で少しずつ習慣が変わっているのは確かですが、いまだに目上の人を敬う傾向は強いと感じました。

韓国の地下鉄で特徴的なものと言えば「物売り」です。商品はさまざま、絆創膏や傘などの日常雑貨から CD などがあります。車内全体に聞こえるような大きな声で商品の説明をして、CDなどは実際に音楽を流して宣伝します。座っている乗客の膝の上に商品を置いていき、説明をした後に回収する場合があります。また、車内に限らず乗り換えの通路でも商売を



している者がいます。特別関心のないものは耳を傾けてはいないのですが、実際に購入する者もいるようです。このような光景は日本ではあまり見受けられないのですが、韓国社会では珍しくない光景の一つといえます。ソウル市内の地下鉄ではかなりの確立で物売りに遭遇することができます。私たち日本人にとっては非常に珍しい光景なので地下鉄に乗る楽しみが一つ増えるのではないのでしょうか。

特徴的な光景として次にあげられるものは、宗教の勧誘です。主にキリスト教の勧誘が多いようです。教会の数も多く、街のいたるところに十字架が見えます。教会のパンフレットを配布し、語り続ける者もいます。宗教の勧誘は街中でもよく行われていることです。



地下鉄の車内を見ると、堂々と携帯電話で通話する者がいます。携帯電話に関しては車内でもトン

ネル内でも電波は良く、大声で話していても誰も気にする者はいません。車内放送でも携帯電話を控えるよう忠告することはありません。あちらこちらで着信音が響きます。周りを気にせず話す者がほとんどなのですが、手を口に翳し周りを気にして話す者もいます。また車内では本を読む者、雑誌を読む者、ケータイ型テレビを見る者、新聞、会社の論文

に目を通す者、ゲームをする者、音楽を聴く者、寝ている者などが居ます。少し前までは考えられなかった事だと言われた車内での化粧をする人も今回見受けられました。日本でも本や雑誌、音楽を聴いたりすることは当たり前とされています。韓国では音楽やテレビをイヤホンなしで聴いたりするなど日本よりはるかに車内が私的公共の場になっているようです。

韓国の地下鉄において様々なポスターも目につきます。日本にも様々なポスターがあり、目を引くのですが、日本と違ったポスターを探すのも楽しいものかもしれません。韓国では公の場で他人の目を気にせず、スキンシップをしたりするので公の場でスキンシップをすることを禁止するポスターも車内には貼られています。韓国でも日本と同様、痴漢が多発しているようで、その注意を促すポスターや病院の宣伝などと様々です。また、どの車両でも電工掲示板が設置されていて次の駅を示したり、宣伝が流れたりします。車内放送は、韓国語、英語、日本語で案内放送を流し、到着と出発でアナウンサーの性別が異なります。



身体障害者の人も暮らしやすい街にするのはどこの国も考えなければならない問題の一つだと思いますが、そのなかでも韓国の地下鉄は改善すべき点があるのではないのでしょうか。私にとっても地下鉄の乗り換えは階段が多く大変なものでした。韓国の地下鉄は目の不自由な方に点字ブロックが設置されている箇所もあったのですが、必要箇所に設置されていないケースもありました。



考察

地下鉄から韓国の現状を見ることができます。韓国の地下鉄内が乗客にとっての私的公共の場になっているのは、社会の変遷からだと感じました。また、私は乗車中に隣に座っていた老婆に日本語で話しかけられたのですが、その人は列記とした韓国人でした。歴史的な問題も未だに残っているが時代が変わるにつれて日韓の友好関係の道が徐々にひらかれているのではないかと思います。

参考文献

KONEST /韓国ソウル/交通/T-money について

http://www.konest.com/data/traffic_info_detail.html?no=1259 (2009.8.26 取得)